

高千穂あまてらす鉄道

高千穂あまてらす鉄道は、約 2.55 キロの長さの廃線となった古い高千穂鉄道(※)を往復し、約 30 分の短い鉄道旅です。旅行者は駅から出発し、荒立神社、天岩戸神社、そして高千穂棚田など地元観光地を巡り、ライトアップされたトンネルや自然の景観を楽しめます。一番の見どころは、かつての日本一の高さに架かる高千穂鉄橋を渡り、頂上での停車するところです。

この旅は、大きな反響を呼び、人気に応えるため、高千穂あまてらす鉄道は、2017 年には 30 人乗りのディーゼルエンジンの「グランド・スーパーカート」を運行させました。トンネルの中では、カラフルなイルミネーションを楽しみ、ガラス張りの床からは、高千穂鉄橋の頂上 105m の絶景を眺めることができます。岩戸川溪谷を挟んで、国際連合農業機関による世界農業遺産と認定された、雄大な棚田の広がりを見ることができます。

※2005 年の台風の被害によって、延岡と高千穂の約 50 キロ間を結んでいた高千穂鉄道は、廃線を余儀なくされました。そのため、地域の支援を受け、地元の出資者たちが新しい会社を設立し、廃線区間を整備し、新しい観光鉄道として再出発しました。